

憲法改悪を許さない全国署名

各地でこんな取り組みが ④⑤

2022年7月28日

9条改憲NO！全国市民アクション 連絡先 メール info@kaikenno.com ☎03-3221-4668

◆大軍拡の9条「壊れ、憲、やめよ！改憲発議許すな、憲法改悪STOP！」の世論と運動今こそ

◆参院選/自民党など改憲勢力に信任与えず
改憲政党党首は「改憲」街頭で語らないまま
選択基準・「憲法改正」は4.7%、第一位の「雇用・景気」の6分の1（「時事」7月10日出口調査）
「憲法改正急ぐ必要はない」58.4%（「共同」世論調査7月11、12日）
明らかになってきた改憲別動隊（旧統一協会）の自民党支配、暗躍の実態

◆「国葬」反対
飛び散った「安倍改憲」忖度のふた、「国葬」を利用した悪政・改憲推進策動の意図に非難轟々

各地の取り組み—参議院選挙後の活動から

取り組みの様子、ニュースなどをお寄せください（事務局）

北海道 戦争いや 平和が一番 憲法壊すなと宣伝・署名 道内各地

札幌市北区の安保関連法・戦争法の廃止を求める北区民の会は7月19日、同区内で宣伝し、「憲法改悪を許さない全国署名」の協力を呼びかけました。

「戦争イヤです 平和が一番！ 憲法壊すな！ 9条守ろう」の横断幕を掲げ、栗山弥寿男北海道教育大学名誉教授らがスピーチ、安倍元首相の「遺志」をかざして改憲意欲を示す岸田首相の前のめりを批判しました。署名した人たちの中には、樺太から引き揚げてきたという女性や、「自衛隊員にも家族がいる。戦争になったら動員される、だから憲法改正には反対」と結婚を機に日本在住となった外国出身の20代女性、「小さな孫の将来が心配。参院選では自民党が多数議席をとった、反対意見を強く言ってくれる野党の議席こそ今必要なのに」と語る74歳の女性らもいました。

札幌市西区の戦争させない札幌西区民の会は7月19日、地下鉄琴似駅前「憲法改悪を許さない全国署名」を呼びかけ宣伝しました。「平和を守る憲法であり続けるのか、それとも戦争をして人を殺す憲法にするのかの分かれ道だ」との訴えに、通行人や買い物客らが署名に応じました。

署名とともに、「二度と戦争しないと誓った日本の憲法に世界は学ぶべきだ、変える必要はない」「自衛隊を書き込めば軍隊を持つ日本となり、戦争ができることになる、怖い、孫たちを殺し合いの戦争に行かせたくない」などの声が寄せられました。

北海道江別市の**憲法9条を考える実行委員会**は7月19日、大麻駅南口で「軍事費2倍化に反対！！ 憲法9条を守って平和外交を」の大横断幕を掲げスタンディング宣伝を行いました。

2015年9月を初回に今回が83回目の行動です。実行委員らがスピーチしました。

山形 世論は改憲など望んでいない 9条改憲NO！県民の会

9条改憲NO！やまがた県民の会は7月19日、JR山形駅前で宣伝・署名行動を取り組みました。

県民の会のメンバーが、参院選で改憲勢力が3分の2以上となったが、世論調査では「改憲を急ぐ必要はない」が6割弱、岸田政権に最も望むことは物価高騰対策・暮らしを守る政策、改憲など望んでいない、軍事費を11兆円にもすることで日本は世界第3位の軍事大国になる、世論に逆行ではないか、などと訴えました。

「アルバイト先が見つからない。税金が戦争に使われるのはいやだ」「戦争は嫌、息子を戦争にやりたくない」などの声とともに署名が寄せられました。

埼玉 市民の運動で野党を後押し／国葬反対の声 オール埼玉が会議

「安保関連法」廃止、集団的自衛権を行使容認した「閣議決定」撤回を求めるオール埼玉総行動実行委員会は7月25日、さいたま市内で実行委員会と地域連絡会交流会議の合同会議を開催しました。会議では憲法に自衛隊を明記する改憲に反対する運動を展開する方針を確認しました。また、安倍元首相の「国葬」に反対する取り組みについての意見が交わされました。

会議では中野晃一上智大学教授が講演しました。中野氏は、参院選の結果について、自民党は議席で伸ばしたのは1人区であり、「大勝」と言うほどの結果ではなかったこと、日本維新の会は比例で伸ばしたが、選挙区での増はわずかで全国政党になれなかったと述べました。また、市民と野党の共同、野党共闘の必要性を改めて指摘しました。今後について、まずは国会内での共闘の立て直しが重要であり、そのためにも市民運動を盛り上げ、野党を後押しすることが欠かせないことを強調しました。

東京 発議許すな、改憲ストップ、国葬反対・抗議 総がかり行動など

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会と9条改憲NO！全国市民アクションは7月19日、衆議院第2議員会館・参議院議員会館・国会図書館前を会場に、80回目の「19日国会行動」を取り組みました。参加した市民は600人でした。

市民や国会議員が発言し、参院選の結果、改憲勢力が多数を占めたが、運動を改めて大きくし、国会・改憲勢力を包囲しようという決意が述べられ、集会参加者の総意となりました。

また安倍晋三元首相の銃撃は許されざる事件であるが、それを改憲策動や政権維持に最大限利用しようとしている岸田政権への批判、「国葬」反対の発言が相次ぎました。

立憲野党から吉田晴美立憲民主党衆議院議員、田村智子日本共産党参議院議員、福島瑞穂社会民主党参議院議員がスピーチしました。伊波洋一参議院議員（沖縄の風）からはメッセージが寄せられました。

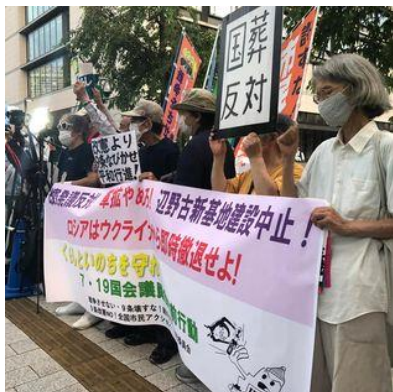
憲法9条壊すな！実行委員会、許すな！憲法改悪・市民連絡会、憲法会議、「憲法」を愛する女性ネット、カトリック正義と平和協議会、STOP改憲・北区の会有志、オール越谷市民アクション有志、平和をつくり出す宗教者ネット、日本山妙法寺、ふえみん婦人民主クラブ、武器取引反対ネットワーク（NAJAT）、東京・地域ネットワーク、憲法骨抜きNO！練馬の会の13団体の呼びかけで、7月22日朝、閣議が開かれ「国葬」が決定される同時刻（8時30分）に首相官邸前での行動が取り組まれました。前々日は

らの呼びかけにも関わらず当日は雨の中市民 400 人もが結集し、プラカードを掲げ、リレートーク・コールで抗議しました。

戦争させない・9条壊すな！ 総がかり行動実行委員会と9条改憲NO！全国市民アクションは7月22日夕、新宿駅西口で安倍元首相の「国葬」を利用した憲法「改正」の企みを止めようと、改憲発議許すな、改憲ストップ、この日朝閣議決定された「国葬」に反対する宣伝を行い、「憲法改悪を許さない全国署名」の協力を呼びかけました。

この行動は月1回続いているものですが、今回の行動を聞きつけ、市民が続々と駆け付け、最終的に約200人が参加しました。手に手に手書きのプラカードを持ち、署名板を携え、チラシを配布するなどアピールしました。

この日の行動で寄せられた「憲法改悪を許さない全国署名」は64人分でした。



7月19日 衆議院第二議員会館前



7月22日 新宿駅西口

(写真提供はいずれも及川昇さん)

富山 「9条守れ」とスタンディング／国葬反対 富山市、高岡市

富山県の高岡市で活動する高岡地区9条の会は7月14日夕刻、市内清水町交差点でスタンディング宣伝を行いました。行動には8人が参加、「憲法を生かす政治に転換を」「守れ！憲法9条」「変えたらあかんちゃ！輝け憲法9条！」などの横断幕やプラカードを掲げ、「守ろう憲法9条」「止めよう改憲発議」と呼びかけました。

信号待ちのバイクの青年が手を振って声援してくれました。

富山県の安保廃棄実行委員会、平和運動センター、自由法曹団などで行く「戦争する国づくり」反対共同行動実行委員会は7月19日、富山駅前広場でスタンディングアピールを行いました。行動には30人が参加しました。

「核のおどし、戦争でなく外交努力を プーチンは侵略を直ちにやめよ！」の横断幕や「9条改憲でなく核兵器禁止条約の批准を」などのプラカードを掲げ、6団体の代表がリレートークで訴えました。

女性のレッドアクションとやま実行委員会は7月18日、富山駅前で、「軍事費倍増許さない！」「9条守れ！」「国葬反対」「国葬に税金使うな」などとアピールしました。

20人が参加した行動では参加者がスピーチで思いを語りました。「国葬反対」の発言が相次ぎました。男女平等順位116位の問題、核兵器廃絶などについての訴えもありました。

2015年の戦争法強行以来82回目の行動となりました。

静岡 沼津大空襲から学ぶ／スタンディング・署名 沼津市、静岡市

沼津市の平和団体オーリーブ・ジャムと沼津母親大会連絡会は7月16日、「戦争と平和を考える市民のつどい」を開催しました。274人の死者と9523戸の住宅が焼失するなどの被害をもたらした1945年7月17日の沼津大空襲にちなみ、1995年から毎年の行動となっています。つどいには75人が参加しました。

萩原繁之弁護士（オリーブ・ジャム）は主催者あいさつで、ウクライナではロシアによって沼津大空襲と同じ惨状が展開されている、自衛を口実に敵基地攻撃能力保有などの危険な議論もされている、と警告しました。弁護士漫才コンビ「四谷姉妹」（東京法律事務所・岸松江弁護士と清龍美和子弁護士）が口演し、盛んな拍手を浴びました。

戦争法廃止オールしずおかアクションは7月19日、静岡市葵区内で戦争法の廃止、9条改憲反対などを宣伝し、「憲法改悪を許さない全国署名」の協力を呼びかけました。

行動には15人が参加、林克アクション代表、芳賀直哉静岡大学名誉教授、静岡市9条の会連絡会の合戸政治さんらがスピーチしました。28歳という男性が「戦争は絶対許せない、ロシアのウクライナ侵略はすごく嫌な思い」、50代女性が「日本は改憲や核共有なんてしないでほしい」などと語り署名しました。

岐 阜 **岐阜空襲追悼「平和の鐘」今年も** **岐阜市長森・日野九条の会**

岐阜市長森・日野九条の会が主催し、呼びかける77年前の岐阜空襲の犠牲者を追悼する「平和の鐘を鳴らそう」が今年も取り組まれました。

2010年から毎年、7月9日に実施しているものです。10人の参加者が、協力してくれる10カ寺を訪れ、梵鐘を撞き、核も戦争もない世界を一日も早く「平和の鐘」を打ち鳴らしました。

京 都 **力合わせ憲法に基づく日本を** **市民が集会とデモ**

戦争をさせない1000人委員会京都連絡会、京都憲法共同センター、市民アクション@きょうとが呼びかけた集会とデモが7月19日、京都市内で取り組まれ、市民150人が参加しました。参院選で改憲勢力が3分の2を占めたもとの初めての行動。

京都市役所前の集会では、勝野友起恵京都医労連委員長、市民アクションの榊原義道さん、1000人委員会の新開純也さん、憲法行脚の会京都の会の中村在男さん、憲法を生かす京都の会の駒井高之さんらがスピーチしました。集会後繁華街をコースに、デモ行進で市民にアピールしました。

大 阪 **9条改憲NO！ スタンディング、パレード** **大阪北区、泉南市**

大阪の**泉南市九条の会**は7月19日夕、府道30号線新家交差点で14人が参加したスタンディング宣伝を行いました。2015年9月の戦争法強行以来毎月続けているものです。

参加者は、「9条改憲NO！」「なくそう核兵器」「ロシアのウクライナ侵略に抗議します」「平和でこそ商売繁盛 戦争法廃止」などの横断幕やプラカードを掲げ、通行人や自動車のドライバーなどにむけアピールしました。

大阪市の**9の日パレード市民の会**は7月9日、大阪市北区御堂筋一帯で199回目の「9の日パレード」を行いました。

「好き！憲法のこころ」とした横断幕を先頭に取り組まれたパレードには60人以上が参加、「憲法を壊すな！」「憲法を生かす政治を実現しよう」などとアピールしました。

和歌山 **9条いかして平和を！** **弁護士らがランチタイムデモ**

憲法9条を守る和歌山弁護士の会の呼びかけで毎月実施されている「憲法の破壊を許さないランチTIMEデモ」が、7月12日和歌山市内で取り組まれました。

デモには40人の弁護士や市民が参加、「9条をいかして平和を」などと訴え、「憲法の破壊を許さない！集団的自衛権容認反対」の横断幕を先頭に行進しました。

福 岡 **「戦争反対、憲法でこそ」と宣伝 署名次つぎ** **福岡市南区**

福岡市南区で活動する**憲法改悪阻止3000万署名南区連絡会**は7月19日、同区西鉄高宮駅前、「憲法改悪を許さない全国署名」の協力を呼びかける宣伝を行いました。

これは、全国で取り組まれている「19日行動」の呼応した取り組み。「平和憲法を、

未来へ。」の横断幕を掲げ、リレートークでアピールしました。

弁士の一人南区九条の会の黒澤節男事務局長は、参院選で改憲勢力が3分の2を占め、岸田首相が改憲意欲を示していることを批判するとともに、今必要なことは、力による対決ではなく憲法を生かした外交努力だと力説しました。

「子どものときから親から憲法の大切さを教えられてきた。憲法を守らないといけな政治家が改憲をいうのはおかしい」(50歳女性)、「9条を変えたら自衛隊が米軍と一緒に海外で戦争ができるようになってしまう」(67歳女性)などと述べながら次つぎ署名が寄せられました。

長 崎 「戦争したくない」と学生も署名 **長崎市の商店街**

憲法改悪阻止長崎県共同センターは7月13日、長崎市内の商店街で8人が参加して「憲法改悪を許さない全国署名」の協力を呼びかけ、宣伝しました。

メンバーの訴えに、「戦争したくないんです」と大学1年の女子学生が署名、男子高校生は、安保法制で自衛隊がアメリカと一体になり海外で戦争できるようになったことなどを初めて知った、ニュースだけではわからない、などと対話になりました。被爆体験者という高齢の女性は、原爆にあっているのに手帳がもらえないと悔しい思いを語って署名しました。

宮 崎 市民と野党の共同で改憲阻止、国葬反対 **宮崎市で集会**

くらしと平和を守り宮崎県実行委員会が主催する19の日統一行動集会が7月19日、宮崎市内で開かれました。参院選後改憲の動きが強まるなか、市民と立憲野党が一層共同を強め改憲の動きを阻止しようとよびかけられたものです。

集会では、立憲民主党、社民党、共産党の代表が発言しました。安倍元首相の国葬に反対する発言も相次ぎました。